



速報！ 増え続けるオンラインカジノ相談 4650万円誤給付事件 法整備は急務

阿武町の誤給付事件を受け当会に来所相談された家族のアンケート調査から、オンラインカジノの相談について精査してみました。

データから、オンラインカジノの相談割合が増え続けていることがわかり、はまっている世代は20代が60%となっていました。若者たちを守るためにも、早急な法整備を求めます。

● 当会の相談会に参加したギャンブル依存症者をもつ家族による記述式アンケート調査結果

	2019年	2020年	2021年	2022年 1/1～5/20現在
相談者数	188	169	194	120
はまっていたギャンブルが「オンラインカジノ」と答えた人の数	8	7	20	15
%	4.2	4.1	10.3	12.5

● 2022年度オンラインカジノ当事者詳細

年代	人数	最年少21歳 最高齢54歳 平均年齢 30.8歳
20代	9	
30代	4	
40代	1	
50代	1	

職業	人数	%
無職	3	20.0
アルバイト	2	13.3
正社員	9	60.0
不明	1	6.6

借金額	人数	%
100万円未満	1	6.6
100万円以上～300万円未満	1	6.6
300万円以上～500万円未満	2	13.3
500万円以上～800万円未満	2	13.3
800万円以上～1000万円未満	1	6.6
1000万円以上	4	26.6
不明/数え切れない	4	26.6

サラリーマンやアルバイトといった職に就いた一般人が、オンラインカジノにはまり1000万円以上、数え切れない額の借金をしている人が半数以上に及びます。

またオンラインカジノにはまり、職を失ってしまった人が3名 20%（うち1名は拘留中）もあり、これは大きな社会的損失と考えます

国にオンラインカジノに対する法整備を早急に整えることを求めます。